

放射性物質によるコンクリート汚染の機構解明と汚染分布推定に関する研究

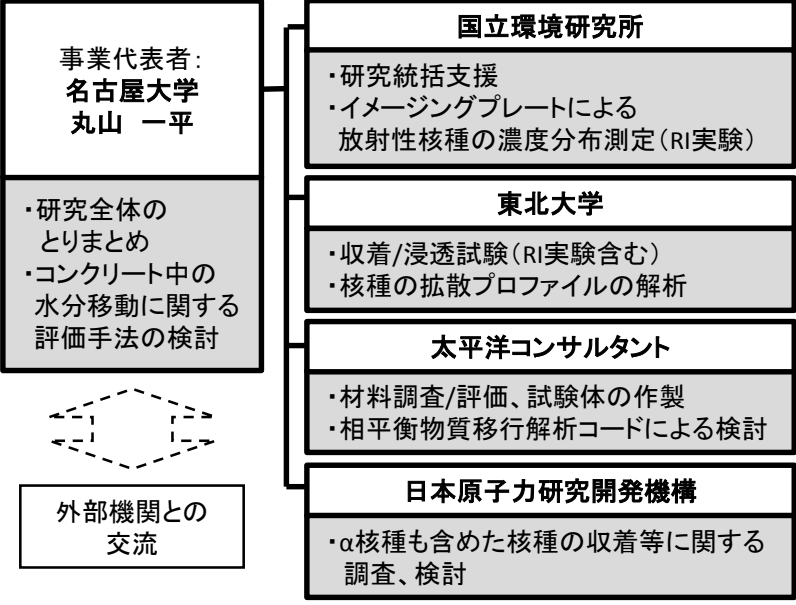
1. 課題目標

福島第一原子力発電所の廃炉工程で実施される、建屋コンクリートの除染や廃棄物量の推計等を行う際の基盤情報に資することを目的に、コンクリートを構成するセメント水和物とCs、Sr、 α 核種等および水を対象として、①**移動・蓄積・溶解の作用機構の実験的解析**、②汚染状況の解析に必要な事故前～廃炉の各段階での**環境推定**、③最先端の知見を取り入れた**核種浸透モデルの検討**、④ **α 核種とコンクリートの相互作用**の評価、を行う。核種移行とセメント・コンクリート材料科学の最先端知見を融合させた研究を通じて、今後の廃炉計画の策定に有用な情報の提供、長期的廃炉業務に貢献できる研究者の育成に繋げる。

2. 研究内容



3. 実施体制



4. 事業実施計画

